

清く雅やかな

世界を求めて

—江戸時代後期の女性画家たち—



2021

9/20(月・祝)～10/30(土)

10:30～17:00

日曜日

休館日

※ただし9月23日(木・祝)は休館。
10月10日(日)は開館。

入館料

無料

会場

実践女子大学香雪記念資料館
企画展示室1・2、下田歌子記念室

主催

実践女子大学香雪記念資料館

後援

渋谷区教育委員会

〈左〉江馬細香《四季竹之図》より「冬」 大垣市奥の細道むすびの地記念館蔵
〈右〉張(梁川)紅蘭《群蝶図》 個人蔵

実践女子大学香雪記念資料館

清く雅やかな 世界を求めて

— 江戸時代後期の女性画家たち —

実践女子大学香雪記念資料館では、開館以来、女性画家の作品の収集・調査・研究を重ねてまいりました。あまり知られていませんが、近代以前、つまり江戸時代にも多くの女性が絵筆をとっていました。しかも、実にさまざまな立場の女性たちが絵を描いています。

今回ご紹介するのは、江戸時代中期以降盛んに描かれるようになる、日本の文人画風絵画のいわば女性版です。耳慣れない名前も含まれているかもしれませんが、いずれも男性が描くものに勝るとも劣らぬ作品ばかりです。一名「南画」とも呼ばれる、その画風の大成者・池大雅の妻玉瀾（一七二七～一七八四）をはじめ、谷文晁の妻や妹など、絵師であった夫や父や兄に家庭内で絵の手ほどき

を受けた女性が多かりの数を占めています。そのいっぽうで、男性に従いつつも、依存しない女性たちも出てきます。そうした女性の代表格が、江馬細香（一七八七～一八六二）と張（梁川）紅蘭（一八〇四～一八七九）です。ふたりはともに現在の岐阜県大垣市の出身で、その画技と生涯に魅せられて、当館ではふたりの作品を随分と調査させていただきました。今回はそのうちのいくつかを特別にお借りしています。ほとんど岐阜県以外では初公開となる作品です。

女性画家たちが描く清く雅やかな世界を、お楽しみください。



- ① 張（梁川）紅蘭《山水図》岐阜市歴史博物館蔵
- ② 徳山（池）玉瀾《漁楽図》実践女子大学香雪記念資料館蔵
- ③ 奥田（大島）来禽《清溪垂釣図》実践女子大学香雪記念資料館蔵
- ④ 林瑛芳《山水図巻》（部分）実践女子大学香雪記念資料館蔵
- ⑤ 江馬細香《蘭図》二曲一隻 実践女子大学香雪記念資料館蔵

交通アクセス

- 渋谷駅 東口（JR／東京メトロ／東急／京王）徒歩約10分
- 表参道駅（東京メトロ）B1出口より徒歩約12分

※駐車場・駐輪場はございませんので、ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。また、ご入館の際には、お手数ですが六本木通り沿いにある正面入口右手の警備室へ、入館の旨をお伝えください。

お問い合わせ先

実践女子大学香雪記念資料館

〒150-8538 東京都渋谷区東1-1-49

[TEL] 03-6450-6805

[HP] <https://www.jissen.ac.jp/kosetsu/>



※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、展覧会の会期や開館時間等を変更する場合がございます。最新情報につきましては、当館ホームページをご確認ください。

アクセスマップ

